令和元年度　六ツ美中部小学校　校長室だより　第５号

いちめんのなのはな

令和元年　５月１７日（金）
校長　鈴木　誠

「体育祭の練習が進んでいます」

学校農園でミニトマトの花が薫風に揺れています。実りへの期待が膨らみます。そして、いよいよ来週に迫る体育祭に向けて、子供たちもぐんぐん成長しています。

木曜日の５時間目のことでした。３・４年生の子供たちが思い思いに、手具の大きな色旗を振りながら、運動場に出てきました。すると、集合の合図として、先生が演技の音楽を放送しました。子供たちは大喜び。自然に隊形を整え、楽しそうに演技を始めました。集合ができたと判断した先生が音楽を止めると、運動場には子供たちの不満の声があふれました。自分たちの演技が大好きで、伸び伸びと表現運動を楽しむ子供たちの姿がまぶしく感じられました。

開会式の練習では、入場行進や準備運動（ラジオ体操）を中心に取り組んでいます。学年が上がるにしたがって、行進やラジオ体操の質が向上するのは、どの学年も真剣に取り組んでいる証（あかし）ではないかとうれしく受け止めています。「行進」も一つの演技であり、前後左右の人を意識しながら、足並みをそろえて歩くわけですが、

- 低学年は「元気に手をふって、まっすぐ行進する」
- 中学年は「手を大きくふり、横列もそろえて行進する」
- 高学年は「胸を張り堂々と行進する」

ことができるとよいと考えています。

また、練習では、「時間を守る」「移動はかけ足ですばやく」「先生の話に耳を傾ける」を心掛けるように、どの学年の先生も指導し、子供たちはそれを受け止め、頑張っています。

しかし、よい姿ばかりではありません。「帽子取り」や「綱引き」の練習では、負けた側の中には、勝者に拍手を送れない子供の姿もありました。勝敗にこだわることで、全力を尽くす態度や、団結する力を高める一方で、フェアプレーの精神や、勝敗に対する正しい態度（互いの健闘をたたえ合う）を高めてほしいとも思っています。

【お知らせ】１，２年生の徒競走を、50mの直線走とします。学習指導要領１，２年生の内容「いろいろな形状の線上等を真っ直ぐに走ったり、蛇行して走ったりする」に沿った内容にするためです。（本部テント側のトラック直線部を使用。ゴールは、トラックの保健室前辺り）ご理解いただくとともに、ご観覧と応援の参考にしていただけると幸いです。

「豊かな心が育っています」

「この子はオスなんだよ」と低学年の女の子が教えてくれました。「どうして分かるの」と尋ねると、「背中に黄色の線があるから」と明確な回答がありました。愛(いと)おしそうに両方の掌(てのひら)にテントウムシの幼虫をのせることができることに加えて、確かな観察眼と知識にも感動しました。もちろん、小さな虫などを触ることが苦手な中部っ子も少なくありませんが、豊かな自然に恵まれる六ツ美中部の地で、子供たちが豊かな心を育んでいってくれることを願っています。

心の豊かさが育ちつつあることが感じられる場面の一つが、登校後の昇降口や中庭の様子です。植えたばかりの生活科で育てている夏野菜の苗、理科の学習で栽培しているアサガオやホウセンカなどへの水やりで大賑(おおにぎ)わいです。中には、そっとナスの葉をなでる子、葉の数を数える子も見られます。

「トマトのつぼみの先がふくらんできたから、もうじき咲くよ」と嬉しそうに教えてくれる子もあります。小さな変化を見逃さずに、自分の預かった小さな命を、自分の一部のように大切にする子供たちの姿がまぶしい、一日のスタートです。

「英語スピーチコンテストの出場者オーデション」

５月１６日（木）

夏休みに実施される、岡崎市小中学校イングリッシュフェスティバルにおける、スピーチコンテストへの出場者オーデションが行われました。代表２名のところに５名の子供が応募しました。短い期間での準備ということでしたが、それぞれに、真剣に取り組む姿が素晴らしいと思いました。そして、何より素晴らしいと思ったのは、積極的に応募する姿です。挑戦する心をこれからも大切にしてほしいと思いました。また、友達の頑張りを応援するために体育館に駆け付けた子供たちがたくさんいたことも、素晴らしいと思いました。